

ことを御理解いただきたい。また、国に対して後期高齢者医療制度の中止、撤回を求める考えはない。

長い歴史と伝統を誇る「無形民俗文化財」川内大綱引について



森永 靖子

質問 「無形民俗文化財」大綱引は四百年余の長い歴史と伝統を持ち、唯一日本一を誇るものである。大綱引に関する全てのものを展示・保管する市の施設はないものか。また、将来的には観光ルートにもなると思うので、大綱会館・展示館について、市長のお考えは。

答弁 来年は四一〇年祭を迎える大綱引であるが、昨年九月にはダイドードリンコ、日本の祭りでは優勝したこともあり着々と日本の祭りの一つに数えられるようになってきている。川内歴史資料館にコーナーを設け、写真・レプリカ資料等展示してある。御覧いただければ一目瞭然でおわかりいただけると思うので、大綱会館・展示館をつくる考えはない。

肺炎球菌ワクチンの公費助成について



杉蘭 道朗

質問 肺炎は日本人の死因の第四位を占め、高齢者ほど死亡率が高く肺炎球菌ワクチンの予防接種が有効とされている。しかしながら、費用については「脾臓摘出患者における肺炎球菌感染予防」のみ保険適用となっている。そこで、肺炎予防のために、ワクチン接種者に対する公費の一部助成について検討できないか森市長の所見を伺う。

答弁 来本市の平成十八年の死因別の死亡者総数千四百一十一人のうち肺炎で亡くなられた方は百三十七人（一二％）と年々高齢化率が上がり肺炎で亡くなられる方も多くなってきたているが、公費の一部助成となると全国約千八百市町村のうち六十四市町村が実施しており、県内ではまだ実施されていない状況である。また今年、少子化対策のために就学前までの子どもの医療費について一億円から財源が必要になっており、財政的な余裕が出てきたら検討したい。

後期高齢者医療制度導入について



佃 昌樹

質問 「姥捨て山」と酷評できる本制度には反対。よりましな制度を期待して質問する。①特定健診の何を評価することで自治体になんべナルティーを課すのか。②医療費適正化計画の目的は。③長寿健診の内容と事後措置は。④被保険者の生の声の把握は。⑤社会的入院者が介護・医療難民として増加する対策への対応は。

答弁 ①健診の実施率、保健指導実施率、メタボリックシンドロームの該当者予備群の減少率等について、平成二十年度から五年間のデータをとり、平成二十五年度から、その目標達成状況により、最高一〇％の支援があり、悪いところは逆に最高一〇％のペナルティーが課せられる。②国と県が定めるもので、生活習慣病患者、予備軍の減少と、平均在院日数の短縮を二つを政策目標を設定して、目標の達成を通じて、結果として将来的な医療費の伸びの抑制を図ることが目的である。③長寿健診と

は、市が実施主体となり国保と同様な内容で、七十五歳以上の方々の健診をやっていたり、健康結果で指導が必要な方については市民健康課で健康相談、訪問指導を行う。④広域連合は、自治体の担当職員、主管課長、市町村長のそれぞれの会を設けているし、議員についても自治体で重複しないよう配慮し、議会・市民・住民の声を広く聞く体制になっている。⑤療養型病床が減らされることに本市としても真剣に考えなければいけないが、できないものについては、国・県に強く要望して参りたい。

薩摩川内市の伝統・伝承芸能について



川添 公貴

質問 ①市にはどのような伝統・伝承芸能があるのか、又多くの市民への周知・広報はされているのか。②後継者育成に對しての支援は。③保存に係るための援助・補助金の在り方、今後の対応について④記録保存を進めるための計画について⑤市の観光の一助となると考える、活用等について。